

産業技術短期大学校庄内校 通信



令和4年3月17日

発行：山形県立産業技術短期大学校庄内校
酒田市京田三丁目57番4号



マスコットキャラクター
「さんぎたん」

祝・卒業

2月24日と25日の2日に渡り、本校の学習の集大成である「卒業研究発表会」が開催されました。PBL(課題解決型学習)による研究成果の発表など、2年間で身に付けた知識・技能のみならず、課題発見の手法やプレゼンテーションについてもそれぞれ工夫を凝らしていました。発表者の表情に、緊張感と達成感があふれている素晴らしい発表会でした。

3月17日に開校以来24回目の卒業式を迎えることができました。卒業式では、各学科代表への卒業証書授与のほか、学業成績が優秀な学生もしくは学生生活で活躍した学生に山形県知事賞等の授与が行われました。受賞者の皆さん、おめでとうございます。

◆山形県知事賞

情報通信システム科 齋藤 力 さん

◆学校長賞

生産エンジニアリング科 阿部 紘太郎 さん

IT会計ビジネス科 伊田 菜々子 さん

◆教育振興会長賞

生産エンジニアリング科 長谷川 凌 助 さん

情報通信システム科 制野 隼 人 さん

IT会計ビジネス科 丸藤 愛 香 さん

4月から、卒業生はそれぞれが選んだ道に進むこととなりますが、学生生活の様々な経験を活かし、経済・産業を拓く若きチャレンジャーとして活躍してくれることを期待しています。

また、これまで学生を支えてくださったご家族の皆様にご心からお礼とお祝いを申し上げます。

令和3年度 就職状況

日本銀行山形事務所の山形県金融経済概況(令和4年2月)によると、「山形県の景気は、全体としては持ち直しの動きが続いているが、一部に弱い動きがみられる。」と分析されています。

また、県内の雇用情勢をみると令和4年1月の有効求人倍率は1.45倍となり、山形労働局では、「山形県内の雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症が雇用に与える影響は弱まり、改善の傾向がみられるが、引き続き感染状況に注意していく必要がある。」と分析しています。

さて、今年度の本校の求人状況ですが、求人票受理件数は事業所数149社、求人数440人、求人倍率16.30倍となっております。

このような中での就職状況ですが、学生たちは、5か月に及ぶ就活講座で就活力を身に付けて、希望する企業への就職活動に積極的に取り組みました。オンライン面接が主流となり、多くのライバルがエントリーしている中、自分を信じて挑戦した結果、全ての学生の就職が内定し、就職内定率は100%を達成しました。

< 活動状況 >

	求人事業所数	求人数	就職希望者数	就職内定者数	就職内定率
生産エンジニアリング科	74	197	8	8	100.0%
情報通信システム科	45	144	14	14	100.0%
IT会計ビジネス科	30	99	5	5	100.0%
合計	149	440	27	27	100.0%

< 内定をいただいた企業 > (敬称略)(五十音順)

生産エンジニアリング科	阿部エンジニアリング(株)	スズモト(株)	TDK庄内(株)	(株)テクノ
	東北エプソン(株)	東北電機鉄工(株)	(株)トガシ技研	
情報通信システム科	ALSOK 山形(株)	オビサン(株)	(株)管理システム	キューブワン情報(株)
	(株)庄内食肉公社	TDK庄内(株)	(株)日情システムソリューションズ	日本アバカス(株)
	パイプ・ラインエンジニアリング(株)	フジテック(株)	(株)プレステージ・インターナショナル山形BPOパーク	
IT会計ビジネス科	伊藤公認会計士事務所	(株)インテック	(株)サンライズ機工	(株)主婦の店鶴岡店
	庄内みどり農業協同組合			

各科だより

生産エンジニアリング科

主任 佐藤 義則

ご家族の皆さまには、日頃からご支援ご協力いただきありがとうございます。2年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。卒業研究発表会も無事終了し、生産エンジニアリング科1期生として、8名全員が卒業を迎えることができました。コロナ禍の状況で感染者を出すこともなく終えられたことを大変うれしく思います。4月からも新型コロナの影響は続きますが、このような状況においても、社会人として活躍されることを期待しております。

1年生の皆さんは、2年生になると授業もより専門的、実践的になり、内容も難しくなっていきます。1年次での努力をさらに積み重ね、技術、技能を習得していただきたいと思います。新型コロナの影響はありますが、各種大会の参加や技能検定などの資格取得は就職活動にも就職してから役立ちますので、積極的に取り組むよう希望いたします。また、新たに入学する新1年生の先輩として、アドバイスやサポートなども期待しております。

<最近のトピック>

◆11月5日(金)TDK庄内株式会社酒田工場、東北エプソン株式会社企業視察(1年生)

工場内における加工技術、ロボット技術、企業におけるモノづくりに対する姿勢などについての理解と知識を深めることができました。

◆11月8日(月)～12日(金) 企業実習(1年生)

企業実習を通して企業理解を深め、本格的に始まる就職活動に活かしていただきたいと思っています。

◆12月6日(月)卒業研究中間発表会(2年生)

◆2月25日(金)卒業研究発表会(2年生)

情報通信システム科

学科主任 萬年 亨
2年担任 工藤 智子
1年担任 芝田 浩

2年生の皆さん、ご家族の皆様、この度はご卒業誠におめでとうございます。

2年前、新型コロナウイルスの影響で学生生活の開始が1か月遅くスタートしました。その後の学生生活や就職活動など、様々な制約がある中でも、一つ一つの困難を共に乗り越えてきました。4月から、新たな環境での社会人生活が始まります。今後のご活躍を祈念いたします。

2月24日の卒業研究発表会では、約半年間かけて熱心に取り組んできたシステムの開発や課題解決テーマについて、各チームによるプレゼンテーションを行いました。例年のように発表会場に足をお運びいただき、聴講いただくことはかないませんでしたが、当日の発表会の様子は、YouTubeによって配信中です。配信についての詳細は、当校のホームページをご覧ください。

1年生は、後期になり実習科目も増え、さらに授業に並行して就職対策講座を実施しております。

キャリアカウンセラーによる就職活動講座、企業実習、模擬面接会等を行いました。就職活動についての目標を明確に持ち、自己分析・企業研究している行動が見受けられました。しかし、まだ具体的な志望が定まっておらず、志望動機や自己PRも不十分である学生もいます。企業においては、例年より早めに採用活動をスタートしているような傾向がみられます。就職活動に乗り遅れないように、今一度、ご家庭で話し合いをしていただくようお願いいたします。

資格については、基本情報技術者試験の実施が、4月と10月の年2回の全国統一試験からコンピュータベースの試験となり、指定期間内に各自が申し込む形となります。制度に振り回されないで、しっかりと試験対策をし、さらに合格者が増えることを期待しております。ご家庭でも学習の様子を気に留めていただきますようお願いいたします。

今後とも、保護者の皆様のご理解とご協力を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

I T 会計ビジネス科

主任 原田 文規

はじめに、ご卒業を迎えられた2年生の皆様にご心よりお祝い申し上げます。また、2年間の学習に対してご支援をいただきましたご家族の皆様にご御礼申し上げます。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で様々な制約のある中、講義や資格試験そして卒業研究などにおられる2年間だったのではないのでしょうか。

その慌ただしい2年間は終わりましたが、社会人になっても学生時代と変わることなく新しいことを学び続ける意識を持ち、日々精進していただきたいと思っております。最先端の知識ほど概して賞味期限は短く、すぐに陳腐化してしまうものだからです。

4月からは新たに所属する組織の発展のため、そして地域経済の発展のため力を尽くしていただきたいと願っております。今後、困難に出遭うこともあろうかと思っておりますが、職業人として大きな夢を持ち、強い志を持って乗り切り成長していかれることを祈念しております。

新たに2年次に進級する皆様は、4月から1年次と比較し、より高度な内容を学習することになります。前期は1年次に引き続いて「キャリア・ライセンス」を受講していただき、就職に向けて資格取得に励んでいただくことになっていきます。時間の確保に努めながら、より一層学習活動に励んでいただくよう期待します。

企業の求人活動はすでに始まっており、一部の求人票は本校に届き始めております。その中にはすでにWEBでの説明会が始まっている企業もあります。人気がある企業になるほど採用活動を早期終了する傾向にあり、受験先の決定が遅れると受験機会も少なくなります。保護者の皆様には、折りに触れてご家庭内で卒業後の進路についてお話しする機会を設けていただくようお願いいたします。

就職試験の内容につきましても、一部企業はオンライン面接を取り入れるなど新たな取り組みをはじめておりますが、あくまで選考手段に一部変更があっただけであり、企業が求める能力や特性にこれまでと大きな変化はありません。IT 会計ビジネス科でも、本人の希望と適性に配慮しながら内定に向け就職支援に取り組んでまいります。